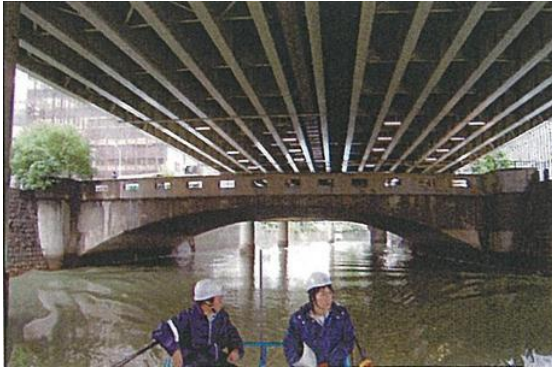


番号	54	名称	鎌倉橋
指定日	平成 19 年 3 月 28 日	所在地	内神田一丁目～大手町一丁目（日本橋川）
設計者		竣工	昭和 4 年（1929）



歴史・文化的特徴

震災復興橋梁として昭和 4 年に新たに架けられた。

江戸時代に鎌倉から届いた石材の荷揚げに使われたため鎌倉河岸といわれた一帯の由来を橋名にとどめている。

意匠・構造の特徴

簡素だが石造風の高欄とアーチをもつ印象的なデザインである。

石造風の袖柱を持ち、橋詰に小さな植栽帯を備えている。

歩道の路面はタイル貼りに改装されている。

周辺景観との関係

橋上からは首都高速道路の高架が圧迫感のある景観を生み出している。

橋梁からは護岸石積が見える。日本橋川が屈曲していて眺望はあまり開けない。

周辺道路からは橋梁を見ることができるが、圧迫感のある景観になっている。

水面からは橋梁の印象的なアーチや橋台をきれいに見ることができる。

ただし上流側に NTT 専用橋が併設されていて、水面からも橋の側面がよく見えない。